

移行前のタスク

- ダウンロード： Firewall Migration Manager （1 ページ）
- Palo Alto Networks ファイアウォールからの構成のエクスポート （2 ページ）

ダウンロード： Firewall Migration Manager

Before you begin

- ローカルマシンに Firewall Migration Manager をインストールするための管理権限があることを確認します。
- Cisco.com へのインターネット接続が可能な Windows 11 64 ビットマシンか、MacOS バージョン 14 以降のマシンが必要です。

（注） インターネットにアクセスできないエアギャップ環境や隔離された環境で移行を実行する場合は、Cisco TAC に連絡してエアギャップ用の Firewall Migration Manager インストーラを入手してください。

手順

ステップ 1 Cisco Software Download Center にアクセスし、Firewall Migration Manager をクリックします。

ステップ 2 Firewall Migration Manager の最新バージョンをダウンロードします。

Windows または MacOS マシン用の Firewall Migration Manager の実行ファイルをダウンロードしたことを確認してください。

Palo Alto Networks ファイアウォールからの構成のエクスポート

構成ファイルは次の方法でエクスポートできます。

Palo Alto Networks ファイアウォールからの構成ファイルのエクスポート（Panorama の管理対象外）

手順

ステップ 1 [デバイス（**Device**）> セットアップ（**Setup**）> 操作（**Operations**）] の順に選択し、[命名済みの構成の保存（**Save Named Configuration**）<*file_name.xml*>] を選択します。

ステップ 2 [OK] をクリックします。

ステップ 3 **[デバイス（Device）] > [セットアップ（Setup）] > [操作（Operations）]** の順に選択し、[命名済みの構成のエクスポート（**Export Named Configuration**）] をクリックします。

ステップ 4 <*file_name.xml*> ファイルを選択します。

ステップ 5 [OK] をクリックします。

ステップ 6 実行中の構成を含む XML ファイル <*file_name.xml*> を選択し、[**Ok**] をクリックして構成ファイルをエクスポートします。

ステップ 7 エクスポートしたファイルをファイアウォールの外部の場所に保存します。このバックアップを使用して Firewall Migration Manager にアップロードし、構成を移行することができます。

ステップ 8 （任意）接続先 NAT に同じ送信元ゾーンと接続先ゾーンがある NAT ポリシーがある場合は、次の手順を実行します。

a) ファイアウォールで CLI から **show routing route** コマンドを実行します。
b) ルーティングテーブルを .txt ファイルにコピーします。
c) この .txt ファイルをフォルダに追加します。このフォルダで .txt ファイルと .xml ファイル（panconfig.xml を含む）を圧縮します。

これらのステップは、移行に必須ではありません。これらの手順を実行しないと、Firewall Migration Manager による移行中に宛先ゾーンがマッピングされず、移行レポートに含まれます。

（注） **show routing route** コマンドを使用して、ルーティングテーブルの詳細を抽出します。抽出した出力をメモ帳に貼り付けます。

Palo Alto Networks ファイアウォールからの構成ファイルのエクスポート（Panorama の管理対象）

デバイスが Panorama によって管理されている場合は、ゲートウェイから構成を抽出する必要があります。Panorama 構成をゲートウェイと統合し、構成を抽出します。

Before you begin

スーパーユーザーアカウントを使用して Palo Alto Networks ファイアウォール Web UI にログインします。

手順

ステップ 1 [デバイス（**Device**）> サポート（**Support**）> テクニカルサポートファイル（**Tech Support File**）] の順に選択します。

ステップ 2 **[テクニカルサポートファイルの生成（Generate Tech Support File）]**をクリックします。

ステップ 3 生成されたファイルが利用可能になったら、[テクニカルサポートファイルのダウンロード（Download Tech Support File）] をクリックします。

ステップ 4 ファイルを解凍して展開し、パス *\opt\pancfg\mgmt\saved-configs* に移動して、*merged-running-config.xml* ファイルを取得します。

ステップ 5 （任意）接続先 NAT に同じ送信元ゾーンと接続先ゾーンがある NAT ポリシーがある場合は、次の手順を実行します。

a) ファイアウォールで CLI から **show routing route** コマンドを実行します。
b) ルーティングテーブルを .txt ファイルにコピーします。
c) この .txt ファイルをフォルダに追加します。このフォルダで .txt ファイルと .xml ファイル（panconfig.xml を含む）を圧縮します。

これらのステップは、移行に必須ではありません。これらの手順を実行しないと、Firewall Migration Manager による移行中に宛先ゾーンがマッピングされず、移行レポートに含まれます。

（注） 階層型ポリシーを持つ Panorama 管理対象の Palo Alto Networks ファイアウォールの場合、Panorama 構成バックアップをエクスポートし、名前を `panorama_running-config.xml` に変更して、ゲートウェイ構成および `route.txt` ファイルとともに zip 圧縮します。

翻訳について
このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。